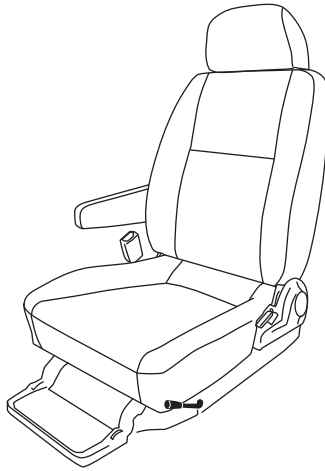




助手席回転シート仕様車



取扱説明書

Drive@earth



MITSUBISHI MOTORS




助手席回転シート取扱説明書

このたびはアイ助手席回転シート仕様車をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、『助手席回転シート』専用の装備に関する取り扱いについて説明してあります。『助手席回転シート』専用装備以外の取り扱いについては、「標準車取扱説明書」で説明しています。

ご使用前にこの取扱説明書および「標準車取扱説明書」を必ずお読みください。

- この取扱説明書に説明されていること以外の取り扱いを行いますと、装備の性能を確保できないばかりでなく、ケガや車両の破損につながる可能性があります。
- 警告、注意は特に重要です。よく読んで守ってください。
守らないと身体への危害や車の破損につながる恐れがあります。
- この取扱説明書の中に使用されているマークと意味は下記のようになっています。

 警告	記載事項を守らないと、死亡や重大な傷害につながるおそれがあること。
 注意	記載事項を守らないと、傷害、事故につながるおそれがあること。
 アドバイス	お車のために守っていただきたいこと。 知っておくと便利なこと。

- ・ 取扱説明書は、お車の中に保管してください。
- ・ お車をゆずられる際は、本書も一緒におゆずりください。
- ・ ご不明な点は、お近くの三菱自動車販売店にお尋ねください。

目次

- はじめにお読みください・・・・・・・・・・・・・・・・P.2
- 各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・P.5
- 専用装置・装備の使い方・・・・・・・・P.6

シートの調整

- リクライニング調整
- ヘッドレスト上下位置調整
- アームレスト
- フットレスト
- シートベルト

シートの回転操作

- シートを車外に出す時は
- シートを車にもどす時は

- 胸部固定ベルト(オプション)・・・・・・・・ P.12
- お手入れ・・・・・・・・ P.13

■はじめにお読みください

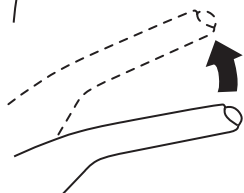
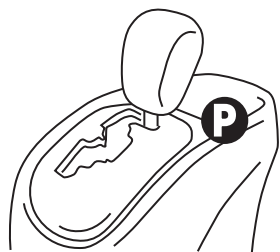
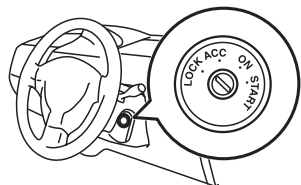
確認しましたか？

助手席回転シートの回転操作をする時、また車椅子を収納する時は、必ず平坦な場所でチェンジレバーを下図の位置にし、パーキングブレーキを確実にかけてください。

- 不整地や傾斜地では助手席回転シートに乗り移る時、車椅子やシートから転落したり車椅子収納時、車椅子が傾いて身体やボディーに当たるなど思わぬ事故につながる恐れがありますのでご注意ください。

* 詳しくは8ページ「シートの回転操作」をご参照ください。

- 安全のためエンジンを止め、イグニッションスイッチをロックの位置にしてください。



危険です！

助手席回転シートを車外に出した状態で乗り降りする時には、必ず助手席ドアを全開にし、頭をぶつけないように注意してください。

- 頭をドア開口部に当て、けがをするおそれがありますので十分に注意してください。



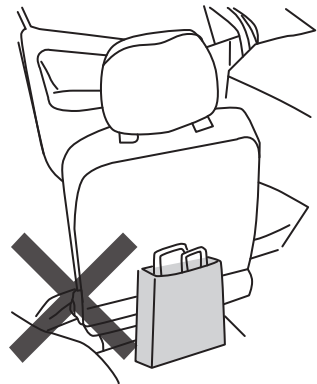
助手席回転シートを回転させる時は、シートに座っている乗員の頭上や手足に気をつけてゆっくりと確実に行ってください。

助手席回転シートを車外に出している時は、シート格納スペースに手足を入れたり、物を置かないでください。

- シートを回転させる時に頭や手足をドア開口部に当てるなど事故につながるおそれがあります。



- シートを収納する時に手足をはさんだり、荷物を損傷したりするなど事故につながるおそれがあります。



⚠ 注意

- 回転シート操作中、または回転シートが車外にでているとき助手席に座っている方がリヤドア付近に手などをおいていますと、ふいにリヤドアを開閉させたとき、手などはさむおそれがありますので、リヤドアの開閉には充分注意してください。
- 回転シートを勢いよく回転させますと、シートに乗っている方が振り落とされたり格納（回転終了）時に大きいショック受けますので、ゆっくり操作してください。

走行する前には、シートが確実に固定されていることを確認してください。

- 確実に固定されていないと、シートが不意に動いて思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 助手席回転シートを収納した時は、シートを軽く左右にゆさぶり確実に固定されていることを確認してください。

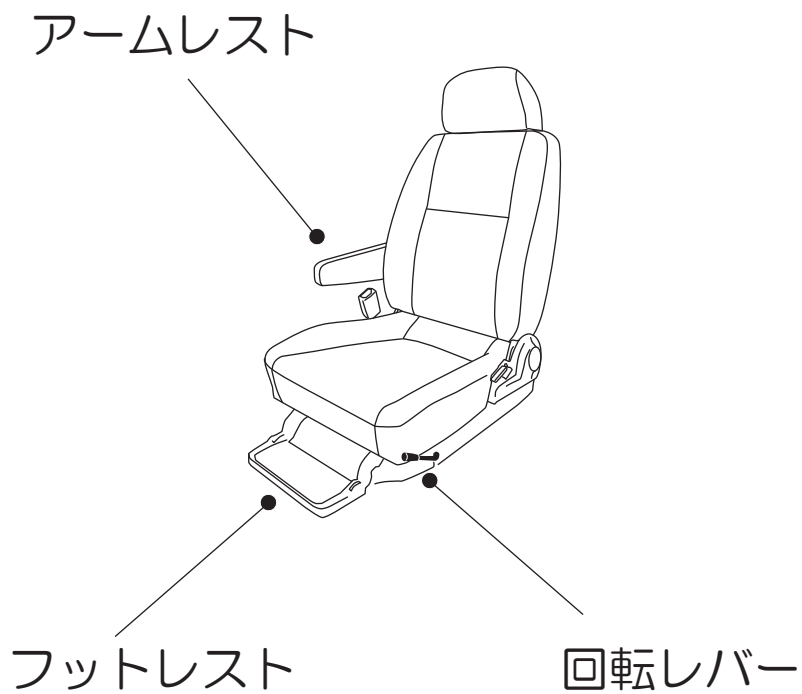


走行中は助手席回転シートに座っている乗員の方も必ずシートベルトを着用してください。

- 急ブレーキをかけた時や衝突した時など重大な傷害を受けるおそれがあります。



■ 各部の名称

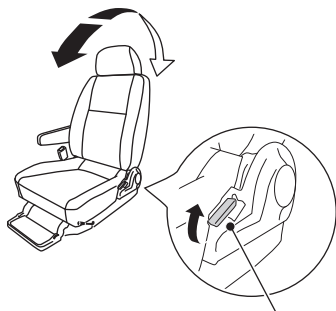


■ 専用装置・装備の使い方

シートの調整

○ リクライニング調整

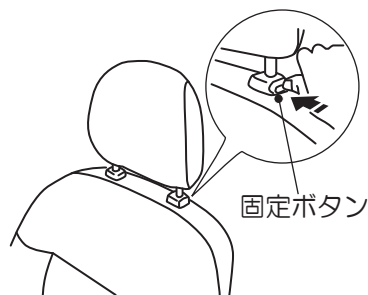
- リクライニングレバーを引いたまま背もたれを前後に動かして調整します。
- 調整後、背もたれを軽くゆさぶり確実に固定されていることを確認してください。



リクライニングレバー

○ ヘッドレスト上下位置調整

- 上げる時はそのまま引き上げます。
- 下げる時は、固定ボタンを押したまま押し下げます。
- 取り外す時は、固定ボタンを押したまま引き抜きます。



⚠ 注意

- 背もたれをもどす時は、背もたれを押さえながらリクライニングレバーを操作してください。背もたれを押さえずにレバーを操作すると背もたれが急にもどり、思わぬけがをするおそれがあります。

⚠ 警告

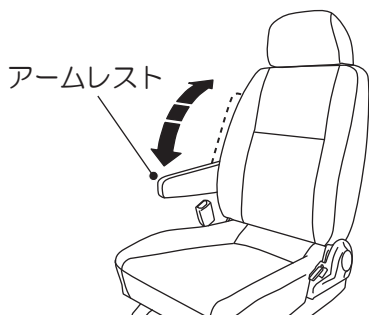
- ヘッドレストを外したままで走行しないでください。衝突した時などに重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。走行前に必ず取付け、ヘッドレスト中央が耳の後方になるように高さを調整してください。

📖 アドバイス

- シートを回転させる時は、背もたれを倒しすぎないようにしてください。背もたれを倒しすぎると、回転させた時に運転席などにぶつかって回転できないことがあります。
- 回転シートはフルフラットにすることはできません。

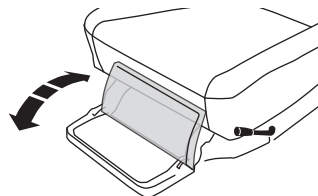
○ アームレスト

- ・ 使用する時は一番下まで下げます。
- ・ 使用しない時は一番上まで上げておきます。



○ フットレスト

- ・ 使用する時は一番下まで下げます。
- ・ 使用しない時は一番上まで上げます。



⚠ 警告

- ・ フットレストを上げ下げする時は、必ずフットレストの先端部を持ってください。回転部近くを持つと回転部で指をはさみ、けがをするおそれがあります。

○ シートベルト

- ・ 3点式のシートベルトです。使用方法は標準車と同様ですので、標準車の取扱説明書の『シートベルト』をご確認ください。

⚠ 警告

- ・ シートベルトは、正しく着用しないと衝突した時などにシートベルトが十分な効力を発揮せず、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

シートの回転操作

- ・ 操作はすべて介添えの方が行ってください。
- ・ 助手席回転シートを回転させたあとは、シートを軽く左右にゆさぶり、シートが確実に固定されたことを確認してください。

⚠ 注意

- ・ 助手席回転シートの操作をする時は、必ず平坦な場所でチェンジレバーを **P** の位置にし、パーキングブレーキを確実にかけてください。不整地や傾斜地では助手席に乗り移る時、車椅子やシートから転落するなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・ 人が座った状態で助手席回転シートを回転させる時は、シートに座っている乗員の頭上や手足に注意してください。頭をドア開口部に当てたり、腰や腕をインストルメントパネルやドア開口部に当てるなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ・ シートに深く着座できない方、膝や首が曲がらない方の場合は、足やボディーに接触したり、座った状態での回転が困難になりますのでご注意ください。

○ シートを車外に出す時は

- ・ 操作前にシートベルトが外してあること、はずしたシートベルトがシートに引っかかっていないことを確認してください。

① 助手席ドアを全開にします。

 アドバイス

- ・ 助手席回転シートを操作する前に、必ず助手席ドアを全開にしてください。全開にしないとシート操作時、シートとドアトリムが干渉し、損傷するおそれがあります。

② シートを以下の状態に調整します。

- ・ フットレストを下げて足をのせ、足を安定させます。
- ・ アームレストを下げます。

 アドバイス

- ・ シートを回転させるときは、背もたれを倒しすぎないようにしてください。背もたれを倒しすぎると、回転させたときに運転席などにぶつかって回転できないことがあります。
- ・ 助手席シートを車外にだしたまま放置しないでください。特に炎天下、雨天、寒冷時などにおいて、カバー類の変形、錆び付きなどのおそれがあります。

③ 回転レバーを下げて助手席を回転させます。



○シートを車内にもどす時は

①助手席回転シートに座ります。

- ・足をフットレストの上にさせます。



⚠ 注意

- ・助手席回転シートに乗り込む時、頭をドア開口部にあてないようにご注意ください。
- ・フットレストの上で立ちあがったりしないでください。フットレストが破損したり、フットレストから落ちてけがをするおそれがあります。
- ・助手席回転シートをもどす時は、後席に乗員をのせないでください。

⚠ 警告

○正しい着座姿勢

- ・助手席回転シートを格納する前に乗員の姿勢が以下の通りであることを確認してください。
- ・両足はフットレストの上にのせます。
- ・フットレストに足を乗せることができない場合は、足がシートとボディーの間にはさまれないように介添えの方が支えてあげてください。
- ・両膝をそろえてお座りください。開脚状態でシートを回転させると、膝がインストルメントパネルにあたるおそれがあります。

- ② 回転レバーを下げて助手席が止まる位置まで回転させる。
- ④ 助手席ドアを閉めます。
- ・ シートが確実にロックされたことを確認します。
 - ・ 走行前に必ずシートベルトを着用してください。



⚠ 警告

- ・ 助手席回転シートを回転させたあとはシートを軽く左右にゆさぶり確実に固定されていることを確認してください。

確実に固定されていないと走行中にシートが動き、思わぬ事故の原因となり重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- ③ フットレストから足をおろし、フットレストを一番上まであげます。
(7ページ参照)

■ 胸部固定ベルト (オプション)

- ・胸部固定ベルトは、着座姿勢保持が困難な方が回転シートを使用するときに、上半身を保持するために使用します。



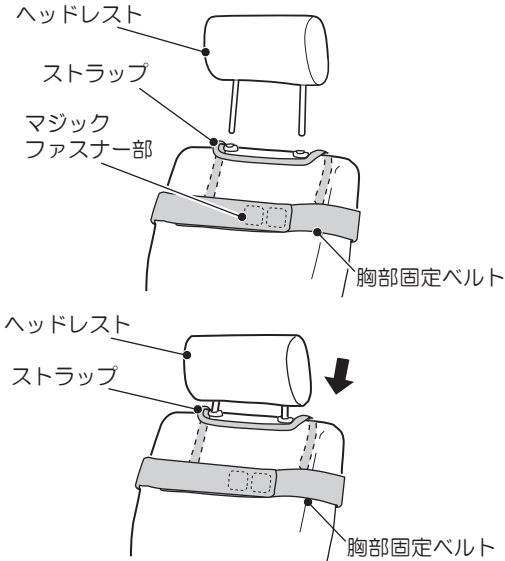
⚠ 警告

- ・胸部固定ベルトは、シートベルトではありません。走行中は必ずシートベルトを着用してください。

📖 アドバイス

- ・シートベルトは、胸部固定ベルトをしたままでも着用できます。

取り付けかた

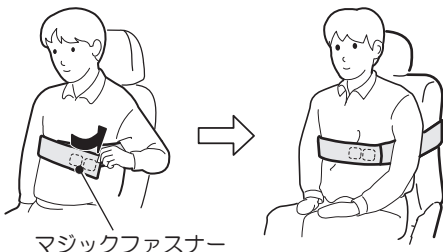


- ① ヘッドレストを取り外します。
(P.6/「ヘッドレスト上下位置調整」をお読みください。)
- ② 左図のようにマジックファスナー部を前側にして取り付けます。
このとき、ストラップがヘッドレスト取付穴の前側にくるようにします。
- ③ ヘッドレストを取り付けます。
(P.6/「ヘッドレスト上下位置調整」をお読みください。)

📖 アドバイス

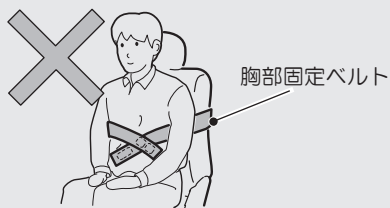
- ・胸部固定ベルトは、アームレストを引き下げた状態で取り付けてください。

着用のしかた



- ① 胸部固定ベルトをシートに座っている方の両脇の下を通します。
- ② 胸部固定ベルトを胸部にたるみなく密着させます。
- ③ マジックファスナーの上下を合わせ、ずれないようにマジックファスナーを手で密着させます。

⚠ 注意



- 胸部固定ベルトを着用するときは、マジックファスナー同士を斜めにかけてたり、上下にずれたりしないようにしてください。マジックファスナーの密着力が低下し、胸部固定ベルトの機能が十分発揮できない恐れがあります。



- 胸部固定ベルトを着用するときは、アームレストの外側を通したり、腕の外側を通したりしないでください。必ず両脇の下を通してください。胸部固定ベルトの機能が十分発揮できない恐れがあります。

📖 アドバイス

- 胸部固定ベルトで上半身を固定することが、乗員に悪い影響を与えると思われるときは、使用を控えてください。
- シートに座っていないときは、胸部固定ベルトがシートの外側に垂れ下がらないように、マジックファスナーで止めてください。

■ お手入れ

📖 アドバイス

- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や酸、アルカリ性の溶液を使わないでください。変色やしみ、強度低下などの原因になります。

○ シート地・胸部固定ベルト(オプション)

- 汚れを取るときは、中性洗剤を薄めてやわらかい布に含ませ、軽くふき取ります。更に水にひたした布を固くしぼってふき取ります。
- 汚れがひどいときは、三菱指定のルームクリーナーをお使いください。ルームクリーナーに記載してある説明をよく読んでからお使いください。

⚠ 注意

- ルームクリーナーを使うときは、ドアや窓を開け、換気してください。

○ 樹脂カバー

- 通常やわらかい布でふいてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めてやわらかい布に含ませ、軽くふき取ります。更に水にひたした布を固くしぼってふき取り、更に乾いたやわらかい布で水分をふき取ってください。

三菱福祉車両

HeartyRun

ハ-ティ-ランシリーズ

- よくお読みになって、ご使用下さい。
- 取扱説明書は車の中に保管しましょう。
- 車両の仕様等の変更により本書の内容が車両と一致しない場合がありますのでご了承下さい。

架装メーカー
株式会社 マルビシカンパニー

〒485-8505 愛知県小牧市大字本庄1251番地3
Tel: 0568-79-1161 Fax: 0568-79-7271

この取扱説明書の内容は2009年11月現在のもので、仕様及び装備は予告無く変更することがあります。